

## 巻 頭 言

平成9年に開学した高知工科大学は、今年、9度目の春を迎えました。

『高知工科大学 今後の取り組み（案）』（平成14年5月）のなかで岡村甫学長は、本学の目標を「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学を目指す」と表現しました。既存の大学ができることをしていたのでは本学の存在意義はない、という本学設立当時の基本的な考え方がこの文言にこめられています。

教育と研究に関する本学の取り組みは、文部科学省が行う国公私立大学を通じた大学教育改革支援プログラムにおいて平成16年度に次の2件が選定されました。

一つは、特色ある大学教育支援プログラムに申請した『多様化した学生に対応した実践的技術者の育成～生徒から学生、そして社会人への成長をサポート～』が選定されたことです。これは教育に関する本学の基本方針である「来るべき社会に活躍できる人材の育成」を具体化した取組の一つです。

さらに、21世紀COEプログラムに『社会マネジメント・システム学』の研究拠点として本学が選定されました。研究面での基本方針である「世界の未来に貢献できる研究成果の創出」を具現化したものであり、世界に誇れる研究成果が期待されています。

この高知工科大学紀要も、大学のあるべき姿を追求する本学の活動や存在意義を広く学内外に公開することを目的として発刊されました。教員の研究に関する論文のみならず、教育への取組ならびに地域貢献に関する報告も積極的に掲載しています。関係各位が高知工科大学に関心をもっていただき、皆様からのご指導ご鞭撻を賜ることができましたら幸いです。

工学部長／教育本部長 坂本 明雄